民間で処理業の優良化を推進

産廃処理業の優良化を考える

―制度創設5年、次のステップへ―

125

公共入札で優良業者が優先されるなどの措置を

エコスタッフ・ジャパン社長

田部和生氏に聞く

加山興業取締役

加山順一郎氏に聞く

国が優良性評価制度を進める中で、民間による優良化の取り組みも進んできた。エコスタッフ・ジャパン（ＥＳＪ）は全国の処理業者の中から優良業者を認定し、全国でのネットワークを独自に構築している。これまで独自に処理業界での基盤づくりを進めてきており、今後は排出事業者との連携も強化していくという。ＥＳＪの田部和生社長と、ＥＳＪ会員会社で国の認定も比較的早く取得した加山興業の加山順一郎取締役に、国の制度への意見やＥＳＪの展望などについて聞いた。（横石修）

制度に対し国と一部の自治体で温度差

――国の優良性評価制度をどう評価するか。

田部 ＥＳＪ会員企業で優良性評価制度の認定を受けている業者に聞いてみると、まずメリットが少ないという答えが返ってくる。また、自治体の担当者によっては「最初に自分のところに申請されてもどう対応すべきか分からないので、他県で認定を受けてから来てほしい」ということもあったと言う。国と一部の自治体に温度差があったようで、これは現在も残っているのではないかと思う。これではなかなか普及しないのも仕方ない。ＥＳＪに加入しているような業者は、国や自治体の姿勢に関係なく独自に優良化に取り組んでいる。優良性評価は非常に良い制度であるし、我々も認定基準の一つに採用しているが、国や自治体の取り組みだけではなく、民間で独自に進められるところは進めていこうというのがＥＳＪの狙いだ。

――実際に優良化認定を受けた業者としての意見は。

加山 やはりメリットが少ないというのが正直なところだ。今回の法改正では優良業者の許可の有効期間が5年から7年に延長されるようだが、それは多少は助かるが本質的なことではないと思っている。例えば行政が行う入札で、優良と認められた業者がその他の業者と同じ土俵に上るというのはいかがなものかと思う。公共入札で優良性評価の認定を受けている業者が優先されるような措置があれば、認定を受けた業者には大きなメリットであるし、制度ももっと普及するだろう。

――優良化の認定基準については。

加山 私はもっと認定のハードルを高くしても良いと思っている。これだけ高い基準をクリアした業者だから安心で、だからそれなりの適正料金で処理するのだということが認識されるようになれば良い。現在は価格でしか勝負できない。適正な処理を行うにはそれなりのコストがかかるので、真面目に取り組む業者ほど苦しくなっている。上場している大手排出事業者でも入札が値段で委託先を決めているのが現実だ。きちんと取り組んでいる業者が報われる仕組みを作るべきだ。国として悪質な業者を排除して優良な業者を育成したいのであれば、上の業者をさらに引き上げる措置を講じるべきだ。

――排出事業者の意識は。

田部 ＥＳＪでも排出事業者との様々な接点があるが、まだまだ大半の排出事業者の意識は低いのが現状だ。経営層と現場でのギャップもある。今まで処理業者の優良なネットワーク作りに取り組んできたが、これからは排出事業者の教育研修なども行っていく必要があると考えている。意識の高い排出事業者はＥＳＪのメンバーにしか委託しないというような状況にまで持っていきたい。

ごみ処理で温暖化対策にも貢献

――優良化制度の排出側の認知度は。

加山 当社は名刺にも「優良性評価基準適合」の文言を入れているが、見て気付いた人が「それは何」と聞いてくるというのが実情で、制度はあまり認知されていない。いずれはこうした業者に委託すれば安心という流れになってくるのかと思っていたが、まだそこまで行っていない。

――国の優良性評価制度と平行してＥＳＪの取り組みを進めているが。

田部 ＥＳＪの現在の全国ネットワーク認定企業数は29社。排出事業者からも様々な条件で相談を受けるようになってきているので、処理業者のネットワーク構築とともに、優良な排出事業者との関係作りも進めていきたいと思っている。会員の処理業者にはこれまで研修を継続的に行ってきたが、今後は排出側の研修も必要だと思っている。国ができない部分を民間で補って、優良業者の全国ネットワークを構築するのがＥＳＪの目的で、その基盤は着実にできつつある。

――加山興業は国の制度もＥＳＪも認定を受けているが。

加山 常に上を見て行きたいという思いで、こうした認定制度などには積極的に参加してきた。ごみ処理は基本的には地場産業だが、それだけでいいのかという疑問も持っていた。ごみはどこでも出る。また、環境問題で言えば地球温暖化は世界共通の問題だ。ごみ処理を通して温暖化防止に貢献できることもたくさんあると思う。ＥＳＪのネットワークなどを活用した全国展開を進め、さらには海外展開も見据えて、今後も優良業者として発展していきたい。

（たなべ・かずお）

（かやま・じゅんいちろう）